

生田省悟教授 略歴・業績目録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/36774

生田省悟教授 略歴・業績目録

略 歴

1948年 8 月 新潟県北蒲原郡岡方村（現新潟市）生まれ

【最終学歴】

1974年 3 月 東北大学大学院文学研究科修士課程修了

【職 歴】

1974年 4 月 日本大学工学部助手

1978年10月 県立新潟女子短期大学講師

1980年10月 同上助教授

1981年 4 月 金沢大学教養部助教授

1996年 4 月 法学部助教授に配置換え

1997年 3 月 法学部教授

2004年 4 月 国立大学法人金沢大学法学部教授、副法学部長（2007年 3 月まで）・評議員（2014年 3 月まで）

2006年 4 月 学長補佐（入試・学生募集担当）（2007年 3 月まで）

2007年 4 月 法学部長

2008年 4 月 人間社会研究域法学系教授、法学類長・法学部長（2010年 3 月まで）

2010年 4 月 人間社会研究域長・同学域長、金沢大学経営協議会委員・金沢大学学長選考会議委員（2014年 3 月まで）

・【主な学会活動・社会貢献活動】

- 2005年9月～2008年9月 ASLE-Japan/文学・環境学会 代表
2008年5月～2010年5月 十七世紀英文学会 編集委員長
2005年4月～2014年3月 石川県公害審査会委員
2007年5月～2008年9月 石川保険事務局・健康保険に関する有識者懇談会
委員（座長）
2008年11月～2014年3月 全国健康保険協会石川支部評議会評議員（議長）
2009年度 大学基準協会 「大学評価委員会全学評価分科会」委員

【研究活動】

○著書（共編著）

- *（編集責任）「フォリオa」第5号（自然というジャンル2——ジャパ
ニーズ・ネイチャーライティング）ふみくら書房、1999年
*（編集委員）ASLE-Japan/文学・環境学会編『たのしく読めるネイ
チャーライティング』ミネルヴァ書房、2000年
*（編集責任）生田省悟・村上清敏・結城正美編『「場所」の詩学——環
境文学とは何か』藤原書店、2008年
*（編集委員長）十七世紀英文学会編『十七世紀英文学と科学』金星堂、
2010年

○分担執筆

- *太田雅孝他編『たのしく読める英米詩』ミネルヴァ書房、1996年（3項
目執筆）
*金沢大学「大学・社会生活論」テキスト編集会議編『知的キャンパスラ
イフのすすめ』学術図書出版社、2008年（「環境思想への誘い」執筆）

○論文

- *「ヘルマフロディトスの変貌——ジョン・ダンの恋愛詩をめぐって」日
本大学工学部紀要（分類B）第17巻、1976年

- * 「ロチェスターにおけるリベルタンの精神」 県立新潟女子短期大学研究紀要 第15巻、1978年
- * 「Ignis fatuus 覚書（Ⅰ）」 県立新潟女子短期大学研究紀要 第16巻、1979年
- * 「Ignis fatuus 覚書（Ⅱ）」 県立新潟女子短期大学研究紀要 第17巻、1980年
- * 「詩の在り方——ダンからロチェスターへ——」 みゆうず 第8号、1980年
- * 「リベルタンの生と詩」 十七世紀英文学研究会編『王政復古の英文学』金星堂、1982年
- * 「“Lee” について——『プロサレイミオン』補注」 金沢大学教養部論集 22・2、1984年
- * 「屑片としての人間——ロチェスター覚書——」 新潟大学英文学会誌 第23号、1985年
- * 「果てしなき懐疑の海へ——ロチェスター再考——」 金沢大学教養部論集 24・1、1986年
- * 「シェイクスピアの『ソネット集』について」 新潟大学英文学会誌 第25号、1990年
- * 「サー・トマス・ブラウンの博物誌——『伝染謬見』断章」 十七世紀英文学会編『十七世紀のイギリスの生活と文化』金星堂、1997年
- * 「ホワイトのセルボーン——博物誌と〈場所の感覚〉——」 金沢大学外国語教育研究センター「言語文化論叢」第1巻、1997年
- * “Modern Japanese Nature Writing : An Overview,” *Literature of Nature*, Ed. P.D. Murphy, Chicago : Fitzroy Dearborn, 1998.
- * 「近／現代日本のネイチャーライティングとその系譜」 文学と環境 第1号、1998年
- * 「〈動物の生活と習性〉——『セルボーンの博物誌』序説——」 金沢法

学 第41卷2号、1999年

- * 『『セルボーンの博物誌』における〈自然のエコノミー〉』金沢法学 第42卷2号、2000年
- * 「ギルバート・ホワイトにおける生態地域主義の視角」金沢法学 第43卷2号、2001年
- * 「〈場所の感覚〉を定位する——エコロジカル・アイデンティティをめぐる覚え書き」金沢法学 第44卷2号、2002年
- * 「ギルバート・ホワイトのまなざし——『セルボーンの博物誌』における若干の用語から」新潟大学英文学会誌 第29号、2002年
- * 「〈場所の感覚〉をめぐる言説——現代日本文学における人間と自然」『環境と文学——米・日におけるネイチャーライティングの歴史および理論の研究——』[平成12～14年度科学研究費補助金基盤研究（B）（1）研究成果報告書：代表者 野田研一]、2003年
- * 「氾濫するObservation——王立協会とサー・トマス・ブラウンにおける自然研究——」金沢法学 第46卷2号、2004年
- * 「覚醒する〈場所の感覚〉——人間と自然環境をめぐる現代日本の言説——」野田研一・結城正美編『越境するトポス——環境文学論序説』彩流社、2004年
- * 「〈人間中心主義〉か〈エコ中心主義〉か——代替的環境ビジョンをめぐる——」金沢法学第47卷2号、2005年
- * 「環境正義と共同体の〈言葉〉——水俣病に係る見舞金契約の言説から——」金沢法学 第49卷2号、2007年
- * 「ことば、場所、共同体——環境正義を考える」文学と環境 第11号、2008年
- * 「自然を架橋する——博物誌と文学のはざままで」水声通信 No. 33 水声社、2010年
- * 「博物誌のポリティクス——十七世紀の英国における〈鬼火〉と〈観

察)をめぐる言説から——」十七世紀英文学会編『十七世紀英文学における終わりと始まり』、2013年

○翻訳

- *ギルバート・バーネット『ロチェスター伯の生涯』(上) 金沢大学教養部論集 25・2、1988年
- *ギルバート・バーネット『ロチェスター伯の生涯』(下) 金沢大学教養部論集 26・2、1989年
- *ジョン・ダニエル「家路」 フォリオa 第2号〈自然というジャンル1 アメリカン・ネイチャーライティング〉ふみくら書房、1993年
- * (分担訳) 三井徹監修・ビル・ハリー『ビートルズ百科』集英社、1994年
- * (共訳) 生田省悟・宮本正秀訳 サー・トマス・ブラウン『ハイドリオタフィア』(その一) 金沢大学教養部論集 31・2、1994年
- * (共訳) 生田省悟・宮本正秀訳 サー・トマス・ブラウン『ハイドリオタフィア』(その二) 金沢大学教養部論集 32・1、1994年
- * (共訳) 生田省悟・宮本正秀訳 サー・トマス・ブラウン『医師の信仰』(その一) 金沢大学教養部論集 32・2、1995年
- * (共訳) 生田省悟・宮本正秀訳 サー・トマス・ブラウン『医師の信仰』(その二) 金沢大学教養部論集 33・1、1995年
- * (共訳) 生田省悟・宮本正秀訳 サー・トマス・ブラウン『医師の信仰』(その三) 金沢大学教養部論集 33・2、1996年
- *スコット・スロヴィック「不本意な名作家——ジョン・ミューアと散文改訂の推移」野田研一他編『アメリカ文学の〈自然〉を読む』ミネルヴァ書房、1996年
- *リー・ステッツン『ジョン・ミューアの霊、大いに語る』米国大使館東京アメリカンセンター、1996年
- * (共訳) 生田省悟・箭川修・井上彰訳 パトリシア・ファマトン『文化

の美学——ルネサンス文学と社会的装飾の実践——』松柏社、1996年

* (共訳) 生田省悟・宮本正秀訳 サー・トマス・ブラウン『医師の信仰・壺葬論』松柏社、1998年

* (共訳) 樋口康夫・生田省悟訳 ジョゼフィン・アディソン『花を愉しむ事典』八坂書房、2002年

* M. P. ブランチ「世界を駆けるジョン・ミューア」野田研一・結城正美編『越境するトポス——環境文学論序説』彩流社、2004年

○書評

* 山影隆著『幻視の地へ——ヨーロッパ文学におけるヴィジョンの諸相』文学と環境 第6号、2003年

* 野田研一著『交感と表象——ネイチャーライティングとは何か』文学と環境 第7号、2004年

* 鈴木貞美著『生命観の探求——重層する危機の中で』文学と環境 第12号、2009年